

航空運賃助成

路線	山形	釧路	但馬	能登	静岡	紋別	白浜	天草
該当	○				○		○	

3 路線はリピート性が高い特定の層に対し、航空運賃の低減を行っている。以下に各路線の航空運賃助成について整理する。

a) 【山形】サポーターズクラブ、旅くらぶ

○実施概要

- ・ 本実証実験では、観光目的となるテーマ性の高いコンテンツやビジネス目的の利用者に対し、2つの会員性クラブを設定し、特定層の集客を図るものである。

○分析

- ・ 空港・路線の会員制度の導入とメリット（割引運賃、会員プレゼント等）を提示することで、リピート性の高い利用者層を確保することができる。
- ・ ビジネス利用・観光利用の2種類のサポーターズクラブ会員に対し、キャッシュバック（往復 5,000 円）を行っており、以下の利用実績がある。
 - 利用者数 サポーターズクラブ H26,27：ビジネス利用 685 席、H28：1,409 席
旅くらぶ（H28 新設）：観光利用 707 席
- ・ 平成 28 年度は会員限定特典によりアクティブシニア等の潜在需要の掘り起こしのため、「おいしい山形旅くらぶ」を新設し、707 席の助成を行っている。助成方法がクレジットカードによる予約のみであったため、シニア層の利用が低迷した。
- ・ 双方の会員は3ヵ年でそれぞれ、1,000 会員増となっており、堅調に増加している。会員向ツアーとあわせて、運賃助成利用も増加していることから、同様の助成額を維持できれば継続的な集客となる。
- ・ 山形空港における航空運賃助成について、競合路線との比較を下表に示す。名古屋までの移動に対し、当該路線は助成後の利用料金は鉄道利用との差額 6,000 円程にとどまっており、所要時間は半分以下となることからメリットがある。また、仙台空港利用に対しては、時間・料金ともに優位である。

サポーターズクラブ助成料金と競合路線との比較

取組	工程	鉄道・バス運賃 所要時間	航空運賃 所要時間	うち助成額	利用者負担額 所要時間
山形＝名古屋路線 (2便/日)	山形駅⇒山形空港⇒名古屋空 ⇒名古屋駅	1,680円 70分	30,000円 65分	▲5,000円	26,680円 135分
【参考】仙台路線利用 (7便/日)	山形駅⇒仙台空港⇒中部空港 ⇒名古屋駅	2,810円 132分	31,210円 65分		34,020円 197分
【参考】鉄道利用	山形駅⇒名古屋駅	20,710円 285分	- -		20,710円 285分

※運賃・所要時間は2016.10時点

【静岡】ビジネスサポートキャンペーン

○実施概要

- ・ 企業訪問、商工会議所の働きかけ等により地道にサポータークラブ会員を増やし、企業会員が継続的に路線路線活用することにより、一定の集客を図るものである。

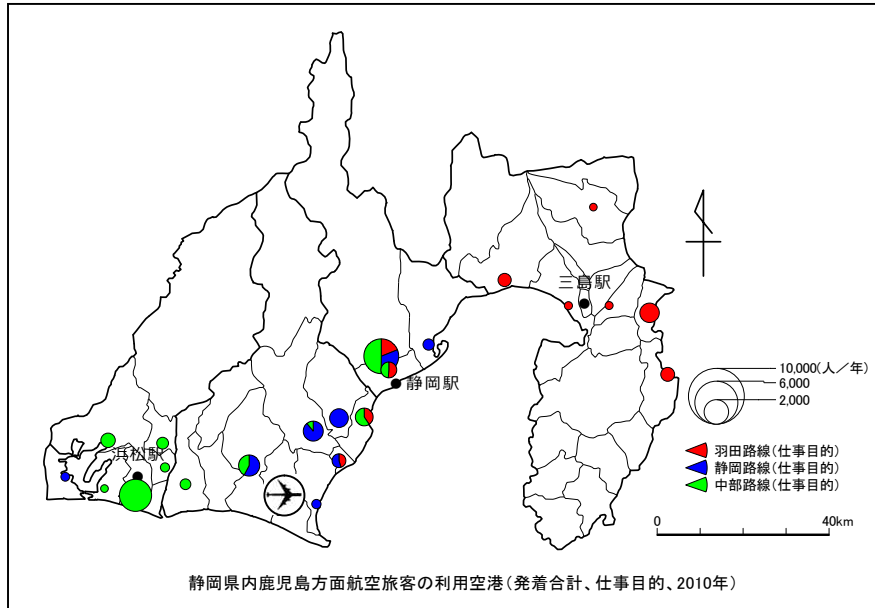
○分析

- ・ 平成 28 年度夏ダイヤからの年間デイリー化をふまえ、企業サポーターズクラブ会員企業に運賃割引を実施している。静岡・鹿児島両県の企業が当該路線を利用した場合にキャッシュバック（片道 5,000 円、往復 10,000 円）を行っており、以下の利用実績がある。
 - 会員数 H26：9 社 61 人、H27：7 社 41 人、H28：94 社 720 人（計 822 人）
 - リピート意向 100%（H28）
- ・ 平成 28 年度からは通年毎日運航を契機として、企業訪問、商工会議所の働きかけ等により会員企業数、路線利用者数が大幅に増加（平成 27 年度：7 社 41 人⇒平成 28 年度：94 社・720 人）している。
- ・ ビジネスキャンペーンは数多くの企業から継続意向があり、羽田路線、中部路線との競合状態にある当該路線において動機付けとなっている。
- ・ 静岡空港における航空運賃助成について、競合路線との比較を以下に示す。

ビジネスキャッシュバック料金と競合路線との比較

取組	静岡県地域	工程	鉄道運賃 所要時間	航空運賃 所要時間	うち助成額	利用者負担額 所要時間
産業交流による鹿児島発 ビジネス需要創出 静岡空港利用 (1便/日)	中部発	静岡駅⇒静岡空港⇒鹿児島空港	1,000円 52分 (バス)	38,000円 90分	▲5,000円 (片道)	34,000円 142分
【参考】羽田路線利用 (23便/日)	中部発	静岡駅⇒羽田空港⇒鹿児島空港	6,840円 149分	22,190円 100分		29,030円 249分
	東部発	三島駅⇒羽田空港⇒鹿児島空港	4,930円 118分	22,190円 100分		27,120円 218分
【参考】中部路線利用 (7便/日)	中部発	静岡駅⇒中部空港⇒鹿児島空港	7,220円 155分	36,110円 85分		43,330円 240分
	西部発	浜松駅⇒中部空港⇒鹿児島空港	5,810円 136分	36,110円 85分		41,920円 221分

※運賃・所要時間は2016.10時点



静岡県発着の鹿児島空港利用者の分布

- ・ 羽田路線のビジネス利用者は静岡駅、静岡東部発では料金がビジネスキャッシュバックよりも安価となる。また、羽田空港の便数が多く圧倒的に有利である。利用者分布では、東部・伊豆地方では羽田空港利用が大部分である。そのため、当該路線は時間短縮メリットのみしかない。
- ・ 静岡空港が県内でも名古屋よりに立地しており、中部空港の日便数（7便/日）には劣るが、運賃・所要時間で中部空港と競合できる。そのため、県西部から中部空港利用しているビジネス旅客をある程度、転換できていると想定される。
- ・ 訪問先企業はほぼ入会し、積極的に路線活用していることから、今後も地道にサポータークラブ会員を増やし、県西部の中部空港からの転換需要を図ることが効果的である。

b) 【白浜】介護帰省割引

○実施概要

- ・ 地域の少子高齢化に対応した需要を確保するため、首都圏で生活している子世代を対象に介護帰省を促すため、JR 運賃との格差を解消するキャンペーンを実施し、他の交通機関からの転換を図るものである。

○分析

- ・ 紀南地方の少子高齢化に対応した需要を確保するため、首都圏で生活している子世代を対象に介護帰省を促すため、JR 運賃との格差を解消するキャンペーンを実施しており、以下の利用実績がある。

- 利用者数 H26 : 109 人、H27 : 291 人、H28 : 8 人（計 408 人）
- 助成があるから利用した割合 13%、リピート意向 100%（H28）

- ・ 本助成は JAL 介護帰省割引 21,090 円（片道）から 4,000 円の商品券にて還元し、利用者負担額を約 8 割の 17,090 円とすることで、JR 利用の 17,300 円との格差を無くしている。鉄道利用の場合 6 時間要する移動時間に対し、航空利用では 70 分に短縮できることで利用者の時間短縮メリットがある。
- ・ 一定頻度で介護による帰省が必要な層を対象に、他の交通モード割引運賃を適用することで、他の交通モードからの利用転換が見られる。

介護帰省割引と鉄道利用・関空利用との比較

取組	工程	鉄道運賃 所要時間	介護割引航空運賃 所要時間	助成額	利用者負担額 所要時間	普通運賃から の割引率	備考
普通運賃	羽田空港→白浜空港		32,790円 70分		32,790円 70分	0%	予約変更可能
介護帰省割引	羽田空港→白浜空港		21,090円 70分	▲4,000円 (片道)	17,090円 70分	48%	予約変更可能
先得料金	羽田空港→白浜空港		16,090円 70分		16,090円 70分	51%	予約変更 払い戻し不可
【参考】鉄道利用	東京駅→白浜駅	17,300円 343分			17,300円 343分	—	—
【参考】関空路線利用 (和歌山県北部着)	羽田空港→関西空港→ 和歌山駅	890円 39分	16,440円 75分		17,330円 114分	—	—

※運賃・所要時間は2016.10時点

- ・ 平成 26、27 年度のアンケートより、和歌山県介護先はすべて田辺市内という利用者ニーズを確認しており、白浜駅より南側の介護先としている鉄道利用者からの転換を図っているものと思われる。しかしながら、白浜空港以北の介護帰省者にとっては、関西空港利用の方が料金・時間ともに優位であり当該路線への転換は期待できない。
- ・ 利用者アンケートでは、もっと安い方がいいという意見が大多数あることから、運賃にシビアであることが伺える。鉄道との運賃格差が少ない料金設定が求められ、かつ航空運賃の他の割引制度に対する優位性を示せないと継続性が困難である。
- ・ 競合路線の関西路線では介護割引の普通料金に対する割引率は 36%であることから、本助成の割引率 48%のインセンティブがあることが分かる。
- ・ 3 年目は約 7 割がリピート利用と多く、新たな利用者を獲得できなかったことが一因となり、利用者が低迷している。助成があるから利用した割合も 13%と低く、元々航空利用している利用者が大部分である。また、先得割引が介護帰省運賃より安価となるケースがあり介護割引の効果が薄れているが、先得割引と同等の料金で予約変更等ができるメリットはある。